

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】うるま市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
18	2007.3.29			沖縄県	うるま市	43,700	85.82
構想の要約		地域内バイオマス資源の多面的・重層的な活用促進を図るため、廃棄物系・未利用系・資源作物系の様々なバイオマスを活用する6つのプロジェクトを骨格とする構想を推進する。各種のプロジェクトを円滑に進め、構想を実現するために「地域間、行政・市民・産業間の意見交換の提供」「各種バイオマスの発生量、利用情報の一元化と提供」「バイオマスに関する市民の理解や意識を高める啓発活動」等の仕組みや機能作りを行い、「市民参加型」「官民連携型」の総合的バイオマス活用を進める。					
構想に盛り込まれた事業		1 メタンプラントの検討 2 燃料化(木質固形燃料)の検討 3 生ごみ・廃食用油分別の検討 4 BDF・EDF燃料化技術の導入 5 飼料化 エタノール化実用化					
バイオマス活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス				
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど		資源作物
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部	○	
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○	
廃食用油	○	果樹剪定枝	○	
水産加工残さ		竹材		
製材工場等残材	○	その他(ホテイアオイ)	○	
建設発生木材	○			
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草				
古紙・廃棄紙				
下水汚泥など	○			
その他()				

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他()		炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	○
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2010.07.27	農村振興局助成措置:平成19-20年度、(株)バイオマス再資源化センター、松くい虫被害木、木廃材、木質ペレット燃料製造施設の整備
2010.07.27	農村振興局助成措置:平成19年度、エコエナジー研究所、廃食用油バイオディーゼル燃料変換施設の整備

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

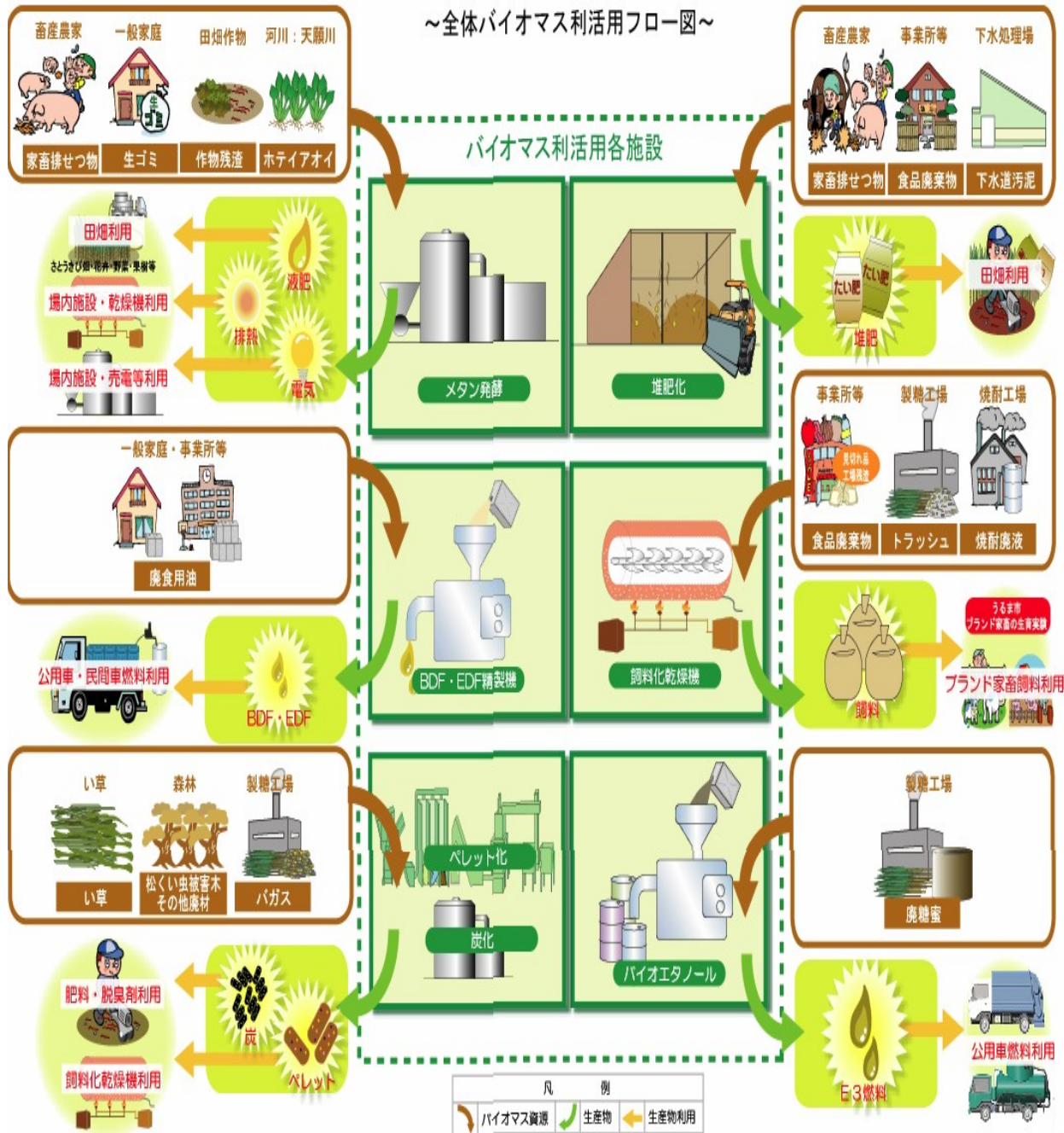
バイオマス	賦存量	炭素換算 賦存量	変換・処理方法	目標仕向量	利用・販売	炭素換算 利用量	利用率	
廃棄物系バイオマス		32971.6				31,217.7	94.7	%
乳牛排泄物	1,219 t/年	376.6	(整備済)	1,219 t/年	堆肥	376.6	100.0	%
肉牛排泄物	19,105 t/年	5431.8	(整備済)+75%整備推進	16,385 t/年	堆肥	4,658.5	85.8	%
豚排泄物(洗浄水込)	70,899 t/年	23367.6	(整備済)+全量メタン発酵	70,900 t/年	堆肥・発電・熱供給・液肥	23,367.7	100.0	%
鶏排泄物	1,045 t/年	245.8	(整備済)	1,045 t/年	堆肥・発電・熱供給・液肥	245.8	100.0	%
生ごみ	3,036 t/年	1207.7	(飼料化)+全量メタン発酵	3,036 t/年	飼料・発電・熱供給・液肥	1,207.7	100.0	%
下水汚泥(し尿汚泥含む)	3,848 t/年	1108.1	25%民間堆肥化推進	962 t/年	堆肥	277.1	25.0	%
焼酎廃液	260 t/年	110.3	(全量利用)⇒一部飼料化	260 t/年	堆肥・飼料	110.3	100.0	%
廃食用油(家庭系)	183 t/年	130.6	20%BDF・EDF燃料化	37 t/年	軽油代替燃料	26.1	20.0	%
廃食用油(事業系)	64 t/年	45.7	(BDF・EDF)	64 t/年	軽油代替燃料	45.7	100.0	%
さとうきび(廃糖蜜)	630 t/年	264.5	バイオエタノールへの試み	630 t/年	エタノール⇒E3燃料	264.5	100.0	%
さとうきび(バカス)	5,040 t/年	618.4	(全量利用)⇒一部固形化燃料	5,040 t/年	燃料・固形燃料	618.4	100.0	%
製材所発生木材	74 t/年	21.8	30%木質ペレット	22 t/年	固形燃料	6.5	29.7	%
建築発生木材	549 t/年	42.6	30%木質ペレット	165 t/年	固形燃料	12.8	30.1	%
未利用バイオマス		1652.9				1,524.5	92.2	%
ホテイアオイ	400 t/年	166.2	全量メタン発酵	400 t/年	発電・熱供給・液肥	166.2	100.0	%
剪定枝等	941 t/年	277.8	(リサイクル)+30%木質ペレット	546 t/年	チップ・敷料・固形燃料	161.2	58.0	%
松くい虫被害木	80 t/年	24.0	(リサイクル)+30%木質ペレット	41 t/年	チップ・敷料・固形燃料	12.3	51.3	%
作物残渣	2,896 t/年	1151.9	(堆肥利用)+全量メタン発酵	2,896 t/年	堆肥・発電・熱供給・液肥	1,151.9	100.0	%
さとうきび(トラッシュ)	252 t/年	30.9	(全量利用)⇒一部飼料化	252 t/年	堆肥・畜産飼料	30.9	100.0	%
い草	16 t/年	2.0	(全量利用)⇒全量固形燃料化	16 t/年	堆肥・固形燃料	2.0	100.0	%

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)

【うるま市バイオマスタウン構想 (案)】

～全体バイオマス利活用フロー図～



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)